

哲學研究

第三十七卷 第二册

第四百二十四號

昭和二十九年六月二十日發行

史學研究會

高さ、大きさ、深さの論理……………植田壽藏

デカルトの自由論(完)……………瀧浦靜雄

郭象の莊子解釋……………福永光司

——主として「無」「無爲」「無名」について——

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行う
 - (一) 毎月一回研究会を開く
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年八四〇圓、又は半年四二〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

京都哲學會役員

委員

有賀鐵太郎
石田仁
井島勉
上野照夫
白井二尙
重澤俊郎
島原太郎
關原三郎
高田三郎
武内義範
田中美知太郎
長尾雅人
西谷啓治
野田又夫
松尾義海
三村勉
矢田部達郎

己の自然としてそのまま受け入れてゆく態度であつた。そしてここに我々は郭象の無爲の新しい解釋の立場を理解する事が出来るであらう。郭象は老莊の無の解釋に獨自な立場を示したと同じように、その無爲の解釋においても獨自な立場を確保してゐるのである。

(筆者 大阪府立北野高等学校教諭)

(未完)

前 號 目 次

人間存在に於ける心身の關係……	島 芳 夫
事實と事實性(考)……	樋 元 和 一
——問題史的考察——	
デカルトの自由論……	瀧 浦 靜 雄

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けま
せん、入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文
堂内京都哲學會係宛に規定の會費（年八四〇圓又は
半年四二〇圓）をお拂込下さい

「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」

一、會費切れの場合は帶封に「前金切」の印を捺しま
すから直ちに御拂込下さい、一年分（又は半年分）
會費は原則として本誌十二冊（又は六冊）の送附済
を以て前金切れとし、會費の變更其他の事情による
過不足は一年（又は半年）毎に精算します

一、會員の轉居入退會等（編集事務以外は一切）の事務
は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい

一、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本
會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和二十九年六月十五日印刷
昭和二十九年六月二十日發行

編集人

京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

右代表者

三 村 勉

發行人

八 坂 淺 太 郎
東京都千代田神田豐河原四ノ四

印刷人

伊 藤 久 春
京都市田中西浦町四〇

印刷所

弘 文 堂 印 刷 所
京都市田中西浦町四〇

發 行 所

株 式 會 社

弘 文 堂

東京都千代田神田豐河原四ノ四

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は
「弘文堂」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金郵稅共（一部、定價七
十圓・郵稅八圓）前金にてお送り下さい

一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓
をお送り下さい

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XXXVII

June, 1954

No. 2

*The Logic of Altitude, Magnitude and
Depth in Art*.....Juzô Ueda

On the Cartesian Freedom (II)Shizuo Takiura

*On Kuo-Hsiang (郭象)'s Interpretation of Chuang-tszü (莊子),
With special regard to "Wu" (無), "Wu wei" (無爲)
and "Wu ming" (無名) (I)*Mitsuzi Fukunaga

Published Monthly

By

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan